

雍也第六

子曰、知之者、不如好之者。
好之者、不如樂之者。

子曰わく、之れを知る者は、之れを好む者に如かず。
之れを好む者は、之れを楽しむ者に如かず

(6-140)

<子曰わく、之れを知る者は、之れを好む者に如かず>

Q:「子曰わく、之れを知る者は、之れを好む者に如かず」とは何ですか。

A: (1)「孔子が言った。ある物事について、それを単に知っている者は、それを好む者には及ばない」の意。

(2)「知るということだけでは、まだ、これを愛好することに及ばない」の意。

(3)「知」とは、事の実在を知る。対象を知る。

(4)「之」は何を指してもよい。道と限る必要はないが、道とすれば、わかりやすい。

(5)「不如」とは、及ばない。

(6)「好」とは、好きになる。知ったものへの特別な感情を寄せること。

<之れを好む者は、之れを楽しむ者に如かず>

Q:「之れを好む者は、之れを楽しむ者に如かず」とは何ですか。

A: (1)「しかし、それを好む者だって、その物事について楽しむ者には及ばないのだ」の意。

(2)「愛好するということは、これを楽しむということには及ばない」の意。

(3)「楽」とは、自他融合して一体となった悦楽の状態。

2011年6月20日林明夫記